

【概要版】生成A I 活用ガイドライン

1. 背景・目的

- 業務が拡大・多様化
- 人口減少などにより労働力減

質の高いサービスを継続的・安定的に提供していく使命

- デジタル技術活用の一つとして生成A Iを活用
- ルールやコツをガイドラインとしてまとめ、生成A Iの適切かつ効果的な活用を推進

3. 利用上のルール

以下を基本ルールに、正しく安全に、前向き・積極的に活用

✓ 基本事項

- ① 生成A Iは補助的なツールであり、責任は人間である職員自身にあることを認識した上で利用
- ② 研修（説明）を受けてから利用
- ③ 情報化推進委員会で承認された環境・ツール等でのみ利用

✓ 入力時の注意点

- ① 個人情報等、機密性の高い情報は入力しない
- ② 既存の著作物に類似する生成につながるようなプロンプトを入力しない

✓ 活用時の注意点

- ① 生成A Iの回答の根拠や裏付けを必ず確認
- ② 著作権など、誰かの既存の権利を侵害することがないか確認
- ③ 生成A Iの回答はそのまま利用するのではなく、できる限り加筆・修正し、回答を対外的にそのまま利用する場合はその旨明記

2. 対象

- 区が導入する生成A I活用にあたっての基本ルール
- ただし、特定分野に対する国等のガイドラインがある場合や、業務等の性質から特に必要がある場合、セキュリティ対策が適切に措置されている場合は例外的に個別に判断

4. 効果的な活用方法

活用シーンやコツ等を共有し効果的な活用を推進 ▶ 業務効率化・高度化

- 使い方一覧 生成A Iの機能としてどのような使い方があるのか分類
- 活用シーン 業務のどのようなシーンでどのように使えるのか
- 活用のコツ プロンプト入力のコツ（字数指定・立場設定・追加質問等）
- プロンプト例 具体的なプロンプト例やテンプレート

使い方一覧（抜粋）

情報抽出系	A要約	長文のテキストを短く凝縮し、主要な情報を抽出する。
チェック系	B校正/添削	文法、スペル、句読点などのエラーをチェックし、文章の質を向上させる。
翻訳系	C翻訳	テキストを一つの言語から別の言語に翻訳する。
		⋮

5. 今後の展望

- 継続的に情報収集や好事例の横展開、効果検証を行い、必要に応じてガイドラインを見直し
- 行政内部で活用しつつ、区民サービスをはじめ、さらなる活用を検討